



R. I. 第2630地区 **高山中央ロータリークラブ**
WEEKLY REPORT

2013～2014 年度 高山中央 RC 会長テーマ

「楽しい時(例会)が素晴らしい人生(ロータリー)を創る」

◆会長 山本 辰男 ◆幹事 中田 専太郎 ◆会報委員長 前越 路子 ◆会報担当 岩垣津 亘

創立 1991 年 5 月 20 日

- ◇事務局 高山市花岡町 1-15 丸越商事 4F
TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488
- ◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600
- ◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～
- ◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 973 回	51 名	50 名	46 名	—	92.00%
前々回 971 回	51 名	50 名	46 名	0 名	92.00%

<点 鐘> 会長 山本 辰男
 <ロータリーソング> 我等の生業
 <四つのテスト>

<本日のビジター>
 高山ロータリークラブ 福井 辰弘 様

<会長の時間> 会長 山本 辰男

ようやくひと月が過ぎました。7月は総会みたいな例会が続き、又、特別な例会があり、いよいよ今日の例会から委員会担当の例会になります。新世代・青少年育成委員会の堀口委員長よろしくお祈りします。

先週のマイ著作りの例会は大変ご苦労様でした。委員長の坂之上さんを始め委員会メンバーには特にありがとうございました。地区からの補助金を頂いての事業でした。後程報告があると思います。どうぞよろしくお祈りします。また、R財団留学生の清水志野さんが挨拶に来ていただきました。例会日と滞在が合わないの、先日清水幸平カウンセラーと一緒に食事をして留学の様子やロンドンの事、イギリスのロータリーの事など聞かせて頂きました。これも報告して頂きます。

さて、夏の句に
 『朝顔に釣瓶とられてもらい水 加賀の千代女』
 有名な句があります。江戸の元禄華やかな頃の人ですが、名前の通り石川県生まれです。かなりの人気で東京に朝顔の井戸が数か所伝えられているようです。
 最近の有名な句、覚えていらっしゃいますか?
 『付け火して 煙喜ぶ田舎者』 これは、放火の句ではなく、噂をしてそれが広がるのを喜ぶ田舎者という意味だそうです。殺人者の方を決して持つわけではありませんが、革命をもたらすのは、よそ者と変わり者といわれています。全て仲間として仲良くしたものです。

<幹事報告> 幹事 中田 専太郎

- ◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より
- ・ロータリーレートのお知らせ
8 月 1 日より 1 \$ = 100 円
- ・2013-14 年度地区大会のご案内

- 日 時：10月19日(土)・20日(日)
- 会 場：桑名市民会館/ホテル花水木
- 登録料：10,000円
- 加茂東ロータリークラブより
 - ・I開催のご案内
 - 日 時：9月28日(土) 10:00～
 - 会 場：シティホテル美濃加茂
 - 登録料：10,000円
- 高山西ロータリークラブより
 - ・例会変更のお知らせ
 - 8月9日(金)→10日(土) 恵の久 納涼浴衣例会
 - 8月16日(金)→19日(月) ひだホテルプラザ 高山3RC合同ガバナー公式訪問例会
- 高松南ロータリークラブより
 - ・例会参加のお願い
- <活動計画書>
 - ・可児RC ・平塚湘南RC ・桑名北RC
 - ・高山RC ・美濃加茂RC ・可茂RC
- <会報>
 - ・平塚湘南RC ・高山RC
 - ・可茂RC ・美濃加茂RC

<本日のプログラム>

新世代/青少年育成委員会 堀口 委員長

本日は、「新世代/青少年育成を考える」というテーマで例会を計画しました。
 内容は、ロータリー財団奨学生 清水志野さんの近況報告を委員会メンバーの清水カウンセラーに行って頂きます。又、7月27日土曜日に行いました「親子で体験“春慶塗マイ著作り”」より坂之上奉仕プロジェクト委員長に趣旨及び概要の説明、委員会メンバーの村瀬さんより当日の模様をお伝え頂きます。
 最後に出前講座の実体験より下田元社会奉仕委員長にお話しいただきます。
 身近な活動の中から新世代/青少年育成を考え、今後のロータリー活動につなげていければと存じます。
 ご清聴よろしくお祈りいたします。



R財団奨学生 清水志野さんの近況報告 清水 カウンセラー



留学報告書

London Business School Class of 2014 清水 志野

【一年目の授業の総括】

2012年の8月14日にロンドンに入り、同月末から授業が始まり、二年間のMBAプログラムが開始しました。9月から12月までの1学期、1月から3月までの2学期、4月から6月までの3学期と、それぞれの学期で5科目ずつを履修し、2013年6月13日に一年目最後の授業が終わりました。一年目は統計学、経済学、マーケティング、組織論、会計学といった基本的なビジネスの科目を履修するのがメインとなっており、同じクラスで毎日授業を受けました。世界66カ国から集まる400人の同級生、一クラス80名の5クラスに分かれ、その中でまた6名から7名のグループに分かれ、毎日の宿題に取り掛かり一緒に勉強をして過ごしました。このグループは一年間同じメンバーで構成されるため、彼、彼女たちとは、否が応でも毎日顔を合わせるようになります。私のグループは、シンガポール人、アメリカ人、イギリス人、ドイツ人、エジプト人、日本人（私）で構成され中東の人とは人生で初めて出会いましたが、実は性格は日本人のように控えめな一面を持ち合わせていたりなど、意外な発見の連続でした。彼、彼女らから教えてもらう出身国の話を通じて、自分が見ていた世界が次第に広がっていくように思えました。

来年からは選択科目を受講し、より専門性の高い分野の科目を個人の希望に合わせて履修することになります。今後は起業、新興国でのビジネスについて焦点を当てて科目を履修していく予定です。

【一年目の課外活動の総括】

課外活動では、アジアクラブに所属し、今年の4月にアジアビジネスフォーラムの企画を担当しました。講演者にはJPモルガン証券のエコノミストの佐々木氏をお招きしてロンドンの学生にアベノミクスについて解説をして頂きました。やはり、世界の著名なメディアもアベノミクスを取り上げており、外国人同級生もようやく日本が金融政策に舵を切ったと、注目的となっております。

さらに、3月末の春休みの一週間で、日本人同級生9名で、ジャパントリップを開催し、110名の同級生とその家族を日本への修学旅行に連れて帰国しました。大阪から入り、京都、広島、愛知県トヨタの工場、東京のスカイツリーと、日本を横断しました準備期間に3か月近く費やしました。日本の「おもてなし」の姿勢をもって、全員無事に全旅程を終えてロンドンに帰ることが出来ました。学内でも、最

多人数が参加し、最もよく仕込まれた、満足度の高いトリップであったと大絶賛されていました。同級生からも質問される日本文化に対する何気ない質問に答え、西欧の文化の違いを理解したうえで日本を案内する中で、外国人目線で日本の素晴らしさを再発見することが出来たと振り返っています。

【一年目のロータリー活動の総括】

この一年でいくつかのイベント、プレゼンテーションに参加させて頂きました。

1130の担当のホストの方は非常に面倒見がよく、全員が無事にロンドンに着いたか、住む場が決まったかを逐一確認してくださいました。勉強のし過ぎで図書館にばかり閉じこもらないように、週末のボランティアが10月にあり、ロンドンの1130地区に留学する奨学生とそのホストの方が集合する機会がありました。これを皮切りに、イギリス名物のフィッシュアンドチップスの会、クリスマスパーティーなど、様々なイベントに招いていただきました。ホストの皆さんは、ロンドンで働かされている若手の方から、既にお仕事を引退された方まで、人種もイギリス人だけではなく、インド人、イタリア人と本当に幅広く、日本から来た私のこれまでの経験や、なぜ、MBAで勉強したいと思ったのか、といったことをよく質問されました。

飛騨高山の古い町並みの写真を見せるとみなさん喜んでくださり、高山の皆さんがどのような生活を送っているのか、とても興味を持っていらっしゃいました。ロンドンは都会ですが、街中にいくつもの大きな公園があり、ロンドンに住む方は自然が好きの方が多くいらっしゃいます。しかし、イギリスには高い山はないため、冠雪した乗鞍の写真は食い入るようにしてご覧になっていました。留学生活の当初は、初めての海外留学という事もあり、非常に不安になった時もありました。そんな時、ホストの方からの「元気にしていますか？」というメールには、心救われる気持ちになりました。そして、イベントでは初対面の日本人の私に、ロンドンでの生活には慣れたかどうかを尋ねて気を配ってくださいました。生活の立ち上がりがうまく進んだのも、ホストの方のサポートのおかげであると振り返っています。

一年間で奨学生期間は終わってしまいますが、ボランティア活動や文化交流イベントなどは引き続き参加し、今後も日本の素晴らしさを伝えるとともに、お世話になったロンドンの地域コミュニティに恩返しできればと思っています。

「親子で体験“春慶塗マイ箸作り”の」報告 奉仕プロジェクト委員会 坂之上 委員長

会員の皆様先日「春慶塗マイ箸作り」にご協力いただきありがとうございました。

高山市の伝統工芸である「春慶塗」の後継者不足問題の一助として、中期計画プロジェクトを立ち上げ、ロータリー財団地区補助金を受け「高山市教育委員会」・「高山工業高校」。



「飛騨春慶塗組合」の皆様のご協力を得て無事終了することが出来ました。

開催をするにあたり、春慶塗伝統工芸士の方との打ち合わせを幾度となく行い、色々な資料を準備して頂いたお蔭で

開催当日は子供たちや保護者の方たちも興味深く説明に聞き入っていました。
 終了後、参加者の皆様から「来年も開催しますか?」とか「次回開催には是非声をかけてください」等々すごく興味をもってもらうことができ、春慶塗組合の方々も「こういった経験は初めてでしたが、開催して頂いてとてもありがたかったです」とのお言葉を頂きました。
 今回このプロジェクト開催して感じたことは、この地域で手助けを必要としている人や団体が他にも沢山あるのではないかと、それを知ることでロータリークラブとしてまだまだやるべき事が沢山あるのではないかと感じました。
 又、この経験をもとにロータリークラブが地域に貢献できる事を一人一人が真剣に考えていかなければロータリークラブとしての意義がないのではないかと思います。
 ロータリークラブが地域に必要とされる組織になれるよう頑張りたいものです。

「親子で体験“春慶塗マイ箸作り”の」報告 新世代/青少年育成委員会 村瀬 委員



出前講座の実体験より

下田 徳彦

これまでの出前講座や先週開催されましたマイ箸づくりの体験を踏まえて「青少年育成」が今後の高山中央 RC の柱となると思います。出前講座は3年間で8回の実績がありますが、今後も必要な事業であると感じています。学校側からは、それなりの評価を得られたと思いますし、今後も期待もされていると思います。何より社会ニーズがあり、最近特にキャリア教育やインターンシップの重要性が高まっていますので、ロータリーとして出来ることに対応して行く必要があります。先生が教えられない事を職業人として伝えていくことは私たちが今できることで、職業奉仕はロータリアンの使命でもあります。出前講座を通して学校、教育委員会、JC、YEG等の連携が取れた事は事業を通して得られた成果の一つです。継続していく上での課題もたくさんあります。特に市内の大きな中学校での対応には人数も必要ですし、メンバーに対して時間的な負担も大きい。学校教育、家庭教育、社会教育がありますが、社会教育の一環として出前講座の必要性を感じています。講師である我々メンバーにも出前講座を通しての多くの学びがあると感じています。



〈8月のお祝い〉

<会員誕生日>

岩垣津 亘 S 2 9 年 8 月 2 6 日
 前越 路子 S 3 1 年 8 月 2 6 日

<夫人誕生日>

谷口 欣也 とも子 S 3 5 年 8 月 4 日
 長瀬栄二郎 まり子 S 4 8 年 8 月 2 8 日

<結婚記念日>

島 良明 S 5 0 年 8 月 1 5 日



お誕生日を祝して

おめでとうございます

<ニコニコBOX>

今朝は雨がすごかったですね。久しぶりにおじゃまさせて頂きました。本日はよろしくお願ひします。

高山RC 福井 辰弘 様

高山RC 福井辰弘様のご来訪を歓迎致します。夏真っ盛り・・・とは言え少し夜明けが遅くなるのを感じるともう秋の気配も。いずれにしる夏を乗り切りましょう。

理事役員一同

昨夜、一本杉神社の夏越祭りで嫁の引いたくじがなんと特賞が当たりましたので。

三枝 祥一

7/29 に初孫が生まれました。女の子です。もうメロメロです。

岩垣津 亘

先日の「マイ箸作り」には会員の皆様、ご協力頂きありがとうございました。お蔭様で無事終了致しました。春慶塗合の皆様も大変喜んで頂きました。

坂之上 健一

土曜日は最高難度の白内障手術が無事成功しました。ストレスから解放されたので来週日曜日の夜だけ大爆発したいです。

周 信夫

入会して一か月が経ちました。皆様の温かいお声かけを頂き感謝しております。今後もよろしくお願ひ致します。

高橋 厚生